

編集・発行/いたみ雅治事務所
〒411-0035 三島市大宮町3-14-15
Tel & Fax: 055-975-7896
https://m-itami.com/

ふるさと三島市を
もっと元気にするために
活動しています!



川勝知事に対し不信任決議案提出

～知事への質疑で登壇～

2021年、参院静岡選挙区補欠選挙の応援演説中に御殿場市を「コシヒカリしかない」などと発言した川勝知事に対し、令和3年11月24日に県議会は辞職勧告を議決した。知事は責任を取って給与とボーナス計約440万円を返上する考えを示していたが、これまでに返上のための条例改正案を県議会に提出せず、全額を受け取っていた。7月12日の本会議で、一転して給与とボーナスを返上する方針を表明したが、県議会最大会派の自民改革会議は同日夜に不信任決議案を提出した。



【不信任決議とは】

知事の不信任決議を可決した場合は、知事は10日以内に議会を解散させない限りその職を失う。

【提出理由】

知事の説明には整合性がなく、保身のために虚偽と言わざるを得ない。知事は静岡県民の生命や財産を守る責任があるが、このような信頼性の欠如は大きな問題。

【結果】

不信任決議案は全議員の2/3以上の出席と、出席議員の3/4以上（静岡県議会の場合は51人）の賛成が必要だが、採決の結果、賛成50人、反対18人で**否決**。静岡県で知事に対する不信任決議案が提出されたのは、1973年以来、50年ぶり。改めて政治家の責任、信頼の重要性について考える機会となった。



がんセンター内 患者利便施設（仮称）の建設



【背景】

- がん治療や支持療法の進歩に伴い外来患者が増加し、待ち時間の増加や待合スペースが不足している。
- 患者満足度調査では、診察・治療後の会計、処方・調剤での慢性的な混雑状況や待合スペースの不足について、改善を求める意見が寄せられており、調剤待ち時間への不満度合いは相対的に高い。

【概要】

- 処方や調剤における患者待ち時間の短縮等に対応するため、敷地内に新しい建物（患者利便施設（仮称））を建設する事業であり、令和7年度に供用開始予定。



ふじのくに福産品等 SDGs パートナー認定制度

ふじのくに福産品とは

「静岡県内の福祉サービス事業所で働く人が作る製品」がイメージしやすいように簡単な言葉で表現した愛称。福祉が主に意味する「公的扶助」のみならず、作る人も買う人もともに「しあわせ」になるようにとの思いを「福」の字に込めた。



【背景】

- 福産品の販売は、現在のところイベントでの物販が主な販路であるが、一般消費者を対象としているため、これのみで安定的、継続的に売上が確保できるかは未知数。
- 近年の企業のSDGsへの関心の高まりを背景に、企業向けの福産品販売は好調に推移している。

【目的】

障害のある人の工賃向上を図るため、企業からの安定的、継続的な売上が見込める仕組みをつくるための取組として、福産品の購入企業等を対象とした、ふじのくに福産品等 SDGs パートナー認定制度を創設する。



ふじのくに福産品等 SDGs パートナー認定制度 概要

【認定基準】 「福産品の年間購入額」と「役務の年間発注額」の合計が30万円以上

【顕彰・優遇】 ● 認定証を交付し、企業（団体）名を公表 ● 県における入札で優遇（調整中）

【運用】

- 企業（団体）は、前年度の障害福祉サービス事業所等からの購入実績が分かるもの（納品書等）を添付し県に認定申請する。
- 県は、購入先が指定を受けた障害事業所等であることを確認のうえ認定証を交付する。認定企業（団体）は名簿に登載し、県ホームページで公表するとともに入札での優遇をする。認定の有効期間は1年間（初年度除く）。